

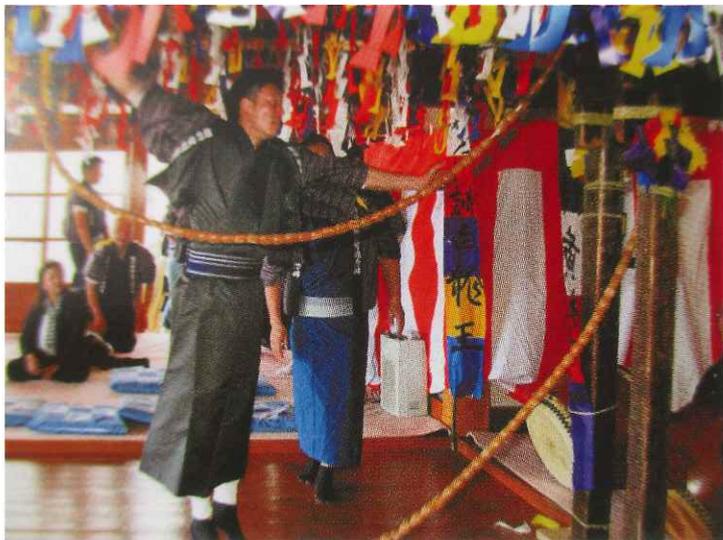
岸連合自治会・岸地区福祉協議会

〒258-0112 足柄上郡山北町岸2061

発行責任者 田淵 康男

編集責任者 岩原 富雄

## 旧世附村と百万遍念仏



昭和53年(1978)の三保ダムの完成に伴って丹沢湖の湖底に沈んだ旧世附地区には、今から650年程前の南北朝時代に後醍醐天皇が落ち延びてきて亡くなったという伝承があります。

なぜ都の部から遠く離れた丹沢山地の奥深い世附の集落に、このような話が残されているのか不思議な思いがします。

この伝承のためか、明治16年(1883)頃に当時の世附村長に対し宮内省から『世附山中の後醍醐天皇に関する遺跡の有無について』の問い合わせがありました。そこで緊急の調査を行ったものの遺跡等の発見には至らなかったようです。

その後40年程が経過した大正時代の末期から昭和の初期にかけて、町外の歴史愛好家が世附山中を調べた際に、菊花の紋章が彫られた石塔を確認したものの、それ以外には大きな成果は得られませんでした。

この世附地区に伝承される“後醍醐天皇”こそが「百万遍念仏」との関わりが深いのです。

「百万遍」という語句は、京都の左京区にある浄土宗の本山でもあった知恩寺の別称です。つまりお寺の名前でもあるのです。

元弘元年(1331)、京の都に疫病が流行りました。その時、知恩寺の僧侶達が宮中で7日間にわたり弥陀の名号を百万回唱えたところ病魔を抑えることができたのです。

これを当時の後醍醐天皇が大変喜び、智恩寺に「百万遍」という寺号と1080珠の大念珠を下賜したのです。

その後、知恩寺では僧や信徒が大数珠を百回繰り回す行事を行うようになり、これも「百万遍」と呼ぶようになったのです。

一般的に浄土宗の総本山としては、京都の東山区にある《知恩院》の方が有名ですが、寛永4年(1627)までは知恩寺が総本山となっていました。

さて問題はこの「百万遍」と世附村がどのように結びついたか…です。

考えられる一つは修験者の存在です。箱根から丹沢山系にかけては、天台密教(比叡山・延暦寺)の修行の地でした。修験者の守り仏とされる第六天が山北町に多いことも含め、それらの人々から都の情報が伝えられたものと考えられます。

もう一つは、平安時代の末期からこの山北の地を支配した河村氏が、南朝側の武将であったということです。後醍醐天皇の第七皇子の宗良親王が共和地区に逃れてきたという伝承(お峰入りとの関わり)もあり、丹沢山地の麓とは言うものの都との繋がりを感じさせる行事です。

《参考文献足柄乃文化第35号、他》



# 令和8年山北町二十歳を祝う会

令和8年1月11日に令和8年山北町二十歳を祝う会が山北町立生涯学習センターで10時30分より行われました。式では町長の式辞、県議・議会議長のお祝いのことばに続き元生徒会長であった越地の岡本 陸さんが代表で二十歳の誓いを述べ、実行委員会の井上実優さんが代表で町よりの記念品を贈呈されました。今年の二十歳を迎えられた方は岸地区では19名でした。



## 各自治会クリーンキャンペーン



湯坂



斑目



南原



原耕地



宿



越地



## カメラ散策

何かと慌ただしかった2025年でしたが、大晦日は穏やかに晴れて、知積寺般若院の除夜の鐘が新年の訪れを告げました。年の変わり目と共に八幡神社には初詣の方々が今年の幸多きことを祈願していました。

## 自治会活動の紹介・斑目

斑目自治会“フラワーロード”植栽活動の引継ぎをされた、有志の方々に構成された“Community ガーデン岩流瀬(がらせ)”の会員の方々が、年2回の6月、12月朝8時半、岩流瀬花壇へ移動して花植え作業の運営をしています。

その花壇は斑目集会所前の通り・県道74号線の酒匂川沿いで、桜並木・岩流瀬橋・新大口橋などがあり、散策にも良い所です。

尚、ご都合の良い方は、ご参加ご協力下さい。  
ご参加のご希望の方は、事務局の 原 茂弘  
TEL 0465-75-0508 まで、ご連絡下さい。



## 敬老茶話会

岸地区高齢者の皆様の長寿を願い、笑いを楽しんでいただく「敬老茶話会」が、令和7年10月21日(火)高齢者いきいきセンターにおいて、地域の78歳以上の高齢者の方41名と来賓の方をお招きし開催されました。

当日は、岸健康普及員の皆さんによる「毎日かんたん体操」、岸幼稚園児による「どんぐりころころ」「こぶたぬきつねこ」などの歌の披露、岸夢一座による寸劇「続 大蛇を退治した神様」など盛りだくさんの催し物が行われ、大変盛り上がりました。

役員の皆様におかれましては本当にご苦労様でした。

来年も同じメンバーにお会いできたらと別れを惜しみつつ無事お開きとなりました。長生きしましょう。



## 令和8年山北町消防出初式

新春を飾る恒例の山北町消防出初式が1月6日(火)、生涯学習センター及び町役場西側駐車場で挙行されました。

岸地区の第4分団では神奈川県知事表彰に武井健太郎氏、山北町消防団長表彰に伊藤友隆氏の両名が受賞されました。

おめでとうございます。



### 分団長からのお願い

消防団は地域の安全・安心を支える地域防災の要です。

災害時だけでなく、平常時の防災活動など多岐にわたって地域に貢献しており、若い方の地域への力が必要とされている今こそご協力をお願いします。

## 八幡神社神輿会の紹介と担ぎ手の募集について

八幡神社神輿会について紹介させていただきます。

神輿会では毎年4月に行われる八幡神社の例大祭で神輿を担ぎ、祭りに華を添えています。今年も4月5日(日)に開催される予定です。

神輿を担ぐ意味は、神様を神輿に乗せ地域を巡り、神様の力を氏子に与え無病息災や五穀豊穡を祈願することとされています。また地域の共同意識を強め、世代を超えて伝統をつなぐ役割も果たしています。その伝統ある神輿を担いでみたい方、男女問わず担ぎ手を募集します。申し込みの締め切り、連絡先は下記の通りです。



「申し込み締め切り」 令和8年2月23日(月)まで  
「連絡先」 神輿会会長 津田 英樹(つだ ひでき)  
電話 090-7267-5350

### 今後の予定

2月28日(土) 町社会福祉大会  
3月 1日(日) 岸連合定例総会  
3月21日(土) 福祉・青少年合同総会  
4月 5日(日) 岸八幡神社例大祭

### 編集後記

2025年度の広報部最後の岸広報(第180号)です。

1年間、広報部員にご協力いただき何とか完結することが出来ました。部員の労に対し心より感謝申し上げます。

何よりも皆さんと会話できるようになったのが嬉しいです。

次年度も継続していただく部員もおられると思いますが引き続きよろしく願いいたします。